

令和6年度

政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会

伝票番号

1

支出年月日	区分		
令和6年 8月 2日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・ 資料購入費 事務費		
支払先	支払金額		
函館 蔦屋書店	3,300円		
摘要（品名）	数量	単価	金額
『測りすぎ なぜパフォーマンス評価は失敗するの？』	1冊	3,300	3,300円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

【領収書等貼付欄】

領収書
主体的市民の会 荒木明美 様
領収日 2024年08月02日
領収書No. 00171017232
(伝票 No. 00171017232)

¥3,300-

(内 (10%) 税抜 ¥3,000- 消費税 10% ¥300-)
(内 (8%) 税抜 ¥0- 消費税 8% ¥0-)
上記消費税 300円を含みます
注) \$は軽減税率 (8%) 適用商品

但し、測りすぎ なぜパフォーマンス評価は失敗するの？
上記正に領収いたしました 扱者 [印] 0138-47-2600
函館 蔦屋書店
北海道函館市石川町85番1号
登録番号 T2120001077107

令和6年度

政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 2

支出年月日	区 分		
令和6年 8月 20日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・ 資料購入費 事務費		
支払先 函館 蔦屋書店	支払金額 2,090円		
摘要（品名）	数量	単価	金額
『自治体の“台所”事情 “財政が厳しい” ってどういうこと？』	1冊	2,090	2,090円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

【領収書等貼付欄】

領収書
主体的市民の会 志木明夫 様
領収日 2024年08月20日
領収書No. 0018729488
(伝票 No. 0018729488)
¥2,090-

(内 (10%) 税抜 ¥1,900- 消費税 10% ¥190-)
(内 (8%) 税抜 ¥0- 消費税 8% ¥0-)
上記消費税 190円を含みます
注) §は軽減税率 (8%) 適用商品

但し、自治体の台所事情財政が厳しいってどういうこと? 代筆
上記正に領収いたしました 抜者 [REDACTED]
函館 蔦屋書店 0138-47-2600
北海道函館市石川町85番1号
登録番号 T2120001077107

令和6年度

政務活動費支出伝票（旅費）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 3

旅行承認年月日		支払年月日		区 分
令和6年 10月 4日		令和6年 10月 5日		・調査研究費 ・研修費
	氏 名	金 額	受領年月日	
1	荒木 明美	78,990円	6年10月 5日	
2			年 月 日	
3			年 月 日	
4			年 月 日	
5			年 月 日	
支払金額合計		78,990円		
旅行の目的 危機管理産業展2024視察のため。				
用務地 東京都江東区				
旅行の行程		旅費の内訳（1人当たり）		
10/8	函館→東京都千代田区	路線バス, 私鉄	1,660円	
10/9	東京都江東区	J R		
10/10	東京都江東区→函館	航空賃	40,420円	
/		日 当	9,000円	
/		宿泊費	27,910円	
/		参加費		
/		その他		
		合 計	78,990円	

領収書等は、別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

路線バス・私鉄 内訳

10月8日 函館駅→函館空港(バス)310円
" 羽田空港→浜松町(モノレール) 520円
10月10日 浜松町→羽田空港(モノレール)520円
" 函館空港→函館駅(バス)310円

合計 1660円

各種代金お支払い 払込受領証 (お客様控え)

Customer Copy

受付日 2024年10月05日 時間 11時20分 お支払い金額 16,710円
26743-0 函館東雲

株式会社AIRDO

お客様氏名 主体的市民の会 荒木明美
下記予約を承っております。 全1名 全1旅程分の金額です。
出発日 便名 区間 出発時刻
10/08 AD058 函館 -羽田 0910

お支払い後の返金は当店ではお受けできません。お支払い内容、領収書に関しては下記へお問合せください。 収納代行会社
お問い合わせ先: AIRDO 予約・案内センター ウェルネット株式会社
電話: 011-707-1122 受付時間: 08:00-20:00
03-6741-1122(東京)

申込No.: 2674372794081590
この明細書は大切に保管してください。

各種代金お支払い 払込受領証 (お客様控え)

Customer Copy

受付日 2024年10月05日 時間 11時21分 お支払い金額 23,710円
26743-0 函館東雲

株式会社AIRDO

お客様氏名 主体的市民の会 荒木明美
下記予約を承っております。 全1名 全1旅程分の金額です。
出発日 便名 区間 出発時刻
10/10 AD059 羽田 -函館 1440

お支払い後の返金は当店ではお受けできません。お支払い内容、領収書に関しては下記へお問合せください。 収納代行会社
お問い合わせ先: AIRDO 予約・案内センター ウェルネット株式会社
電話: 011-707-1122 受付時間: 08:00-20:00
03-6741-1122(東京)

申込No.: 2674372794087691
この明細書は大切に保管してください。

領 収 書 (RECEIPT)

2024年 10月 05日

209012

(ご利用内訳)

10%対象	22,910
内消費税	2,710
8%対象	
内消費税	
宿泊税(対象外)	

(お支払内訳)

現金	
クレジット	
電子決済	

主体的市民の会 荒木明美 様

¥ 23,710

但し、
 御宿泊代として 22,910
 御朝食代として
 宿泊税として
 その他 ()
上記の金額正に領収しました

株式会社 梁 梁 登録番号: T9010001029120

お茶の水ホテルシブヤク
東京都千代田区神田淡路町2-9
☎ 03(3251)7222(代)

収入印紙
貼 付

扱 者

表示：2025年1月28日

No.113351445

搭乗証明書

CERTIFICATE FOR BOARDING

下記の通り、ご搭乗されたことを証明いたします。

記

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. お客様氏名
Passenger's Name | アラキ アケミ 様 |
| 2. 搭乗日
Date | 2024年10月8日 |
| 3. 航空会社
Carrier | 株式会社AIRDO |
| 4. 便名
Flight No. | ADO058 |
| 5. 座席番号
Seat No | 20B |
| 6. 区間
Sector | 函館→東京(羽田) |
| 7. 出発時刻
Departure Time | 9:10 |

This is to certify that passenger has been on board our flight as indicated above.

AIR DO

表示：2025年1月28日

No.113365812

搭乗証明書

CERTIFICATE FOR BOARDING

下記の通り、ご搭乗されたことを証明いたします。

記

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1. お客様氏名
Passenger's Name | アラキ アケミ 様 |
| 2. 搭乗日
Date | 2024年10月10日 |
| 3. 航空会社
Carrier | 株式会社AIRDO |
| 4. 便名
Flight No. | ADO059 |
| 5. 座席番号
Seat No | 27E |
| 6. 区間
Sector | 東京(羽田)→函館 |
| 7. 出発時刻
Departure Time | 14:40 |

This is to certify that passenger has been on board our flight as indicated above.

AIR DO

出張報告書

令和6年10月25日

主体的市民の会 荒木明美 様

出張者氏名 荒木 明美

下記のとおり出張したので報告します。

記

1 出張期間	令和6年10月8日～令和6年10月10日(3日間)
2 用務地	① 10月9日 東京都江東区 市・町
	② 10月10日 東京都江東区 市・町
	③ 月 日 市・町
	④ 月 日 市・町
3 出張概要	危機管理産業展2024視察 日時：令和6年10月9日(水)10:00～17:00 令和6年10月10日(木)10:00～13:00 場所：東京ビッグサイト
4 所見	別紙。
備考	

危機管理産業展2024視察

主体的市民の会 荒木明美

日時：令和6年10月9日(水) 10:00~17:00

10月10日(木) 10:00~13:00

会場：東京ビックサイト（東京都江東区有明）

セミナー・講師：

「エッジAIカメラで行う水害監視—和歌山県橋本市の取組み事例」橋本市危機管理室主任 守内宏称、㈱イーラスト代表取締役 酒井龍市

「標準化による災害対応ドローンの効率的な社会実装」東京大学 五十嵐広希、元ロサンゼルス消防 Thomas Haus、名古屋工業大学 佐藤徳孝、長岡技術科学大学 木村哲也

「防災DXを本気で進めるために何が必要か」国研) 防災科学技術研究所 総合防災情報センターセンター長 臼田裕一郎

目的：2005年に始まった危機管理産業展は今年で20年目となり、約445団体・企業の展示に加えて、「見て、触れて、聴いて、危機管理の“いま”をつかむ」と題した主催者企画（能登半島地震関連展示、RISCON 防災カフェ、避難所再現ゾーン）や被災地のインフラ点検、物資輸送に活用されたドローンの実演、体験コーナーも設けられた。危機管理、特に防災・減災の最新情報を得るとともに、「見て・触れて・聴く」体験をするために視察に出向いた。



所見：災害や犯罪の発生時に被害を最小限に抑え、最悪の状況から一早く適切に脱するためには「危機管理」の知識と備えが必要と感じる。特に今年は元旦に能登半島地震が発生し甚大な被害が出たが、追い打ちをかけるように記録的な大雨に見舞われた。一つの災害への対処は想定していても、災害が度重なることを想定している自治体は少ないのではないか。その意味で今回の危機管理産業展は例年以上に重層的な情報を得ることができた。

今回のトレンドは「ドローン」であると感じた。ブースのあちこちで

「ドローン」を利用したサービスの説明が行われ、セミナーでも私が

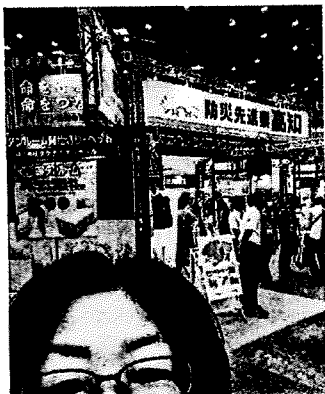
参加した災害対応ドローンのお話以外にも「ドローン」がテーマとなったセミナーが散見された。ドローンを活用して、物資輸送や情報伝達・広報だけでなく、家屋被害等の被災状況調査や捜索活動、孤立集落支援といった災害時の対応が研究・実装されている。また、ドロ



ーン減災士といったドローン防災スペシャリスト教育も進んでいることが分かった。

また、いたるところでデジタル化、DX化も進んでいた。防災対応の資機材や装備品も、以前このような場で見た時のスペックからはるかに改善されており、特に軽量化や高性能化（対応できる温度の上下限が広がったり、人力不要の傾向あり）、利便性の向上等、技術の進展を実感した。

例えば、和歌山県橋本市では内水氾濫等の被害経験からエッジAIカメラを導入しており、水位監視機器として高性能のカメラ+水位計が一体となっていることが他にはない差別化ポイント。また、土砂災害の監視システムとして、杭を地面に刺すことで土砂状況が分かるというものもあった。杭の中に通信デバイスセンサーバッテリーが入っており、データと映像で現場状況をリアルタイムで監視できるというもの。杭の場所の移し替えも容易にでき、クラウドなので専用のシステムも不要。米国ではドローンが災害時の状況把握に広く使われており、陸上だけでなく水中も、それらが連携しているものも存在する。セミナーの中では、(肌感覚で)災害時の関連団体の75%がドローンを利用しているとのこと。



今回回ってみて、いずれにも共通してるのがデジタル化された機器・サービスと

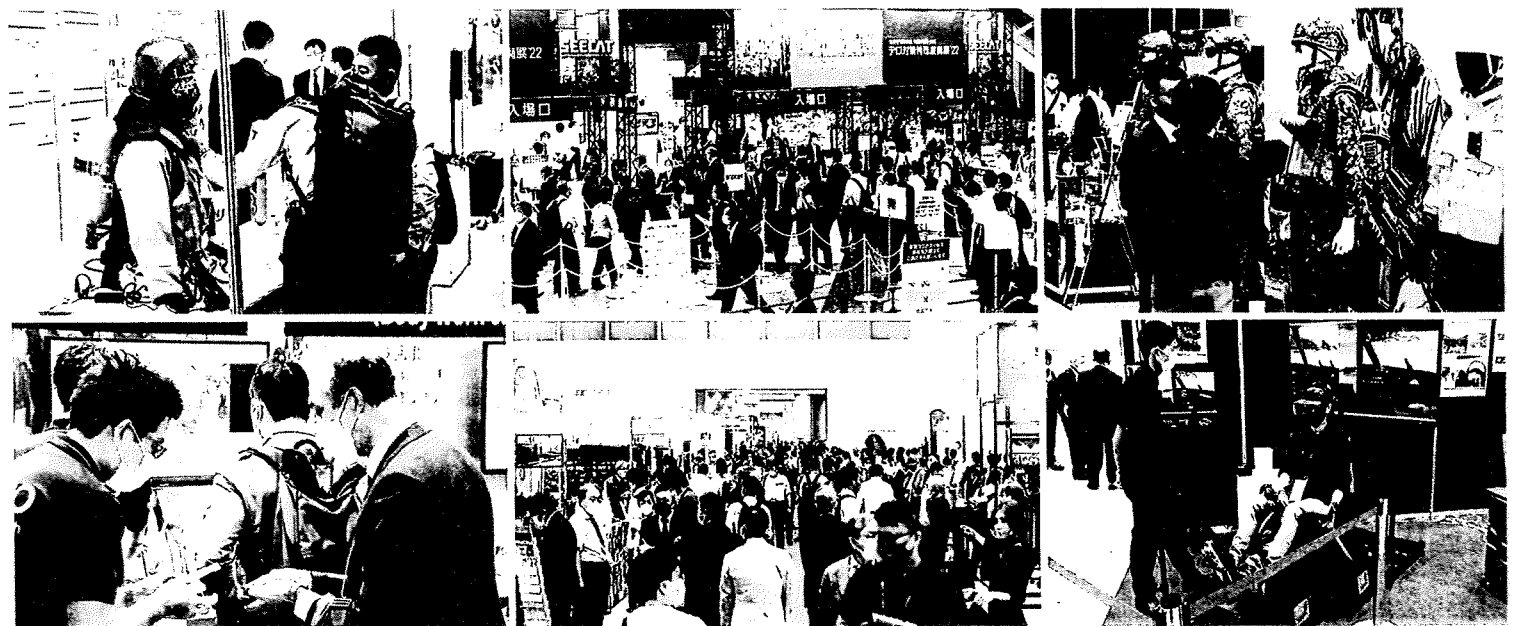
いうこと。人口が減り災害時に対応できる人も減る中でいかにデジタルを活用するかが当たり前になっていることが分かった。函館市がこういった最新情報にどこまで接しているか分からないが、函館に関係することとして、最先端の防災行政無線や避難所関連用品、備蓄品、蓄電池、ソーラーシステム等について情報を得て体験してほしいと感じ、また機会を見つけて情報共有したいと思う。

次回開催のご案内

Risk Control in Tokyo
RISCON
TOKYO

危機管理産業展2024

テロ対策特殊装備展'24



2024年10月9日 水 - 11日 金

東京ビッグサイト 西1・2ホール

2024年春より「お問合わせ」受付開始予定!

資料
ご希望の方

裏面の内容をメールまたはFAXにてご返送ください。

(公式WEBサイト「お問合わせ」または下記Eメールアドレスからも資料請求いただけます。)

■お問合わせ先

RISCON TOKYO / SEECAT 事務局 TEL : 03-3503-7641 FAX : 03-3503-7620

URL : www.kikikanri.biz e-mail : ofc@kikikanri.biz



[RISCON TOKYO2024]事前来場登録完了のご案内

1件のメッセージ

RISCON TOKYO 事務局 <ofc@kikikanri.biz>

2024年10月2日 20:14

To: araki.akemi@gmail.com

荒木 明美 様

この度はご来場のお申込みをいただき、ありがとうございます。
下記の通り、お申込みを承りましたのでご確認下さい。

受付番号 :E05753755055917

展示会名：危機管理産業展（RISCON TOKYO）2024

会 期：2024年10月9日(水)-11日(金)

場 所：東京ビッグサイト 西1・2ホール

お名前（姓）：荒木

お名前（名）：明美

ふりがな（姓）：あらき

ふりがな（名）：あけみ

メール :araki.akemi@gmail.com

会社/団体名 :函館市

■来場者証の発行はこちらから（A4サイズでカラー印刷してください）

<https://www.tenjikai-uketsuke.com/qr/e44472324/qr.asp?cd=174b0175411042027>

■登録内容の変更・修正はこちらから

<https://www.tenjikai-uketsuke.com/form/kikikanri2024/riscon/visitor/login/>

■セミナー聴講予約はこちらから【全セッション聴講無料】

<https://www.tenjikai-uketsuke.com/form/kikikanri2024/riscon/seminar/calendar.htm>

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

〒

〒 RISCON TOKYO事務局

〒

〒 東京都千代田区霞が関1-4-2(アテックス(株)内)

〒 TEL：03-3503-7641 FAX：03-3503-7620

〒 E-mail：ofc@kikikanri.biz

〒 公式WEB：https://www.kikikanri.biz/

参考様式第1号

令和6年度

政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 4

支出年月日	区 分		
令和6年 10月 5日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u>		
支払先	支払金額		
サッドラ 函館大縄店	1,094円		
摘要（品名）	数量	単価	金額
A4コピー用紙	2個	547	1,094円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

【領収書等貼付欄】

主体的市民会 尾木月美

領収証

No.0004-2598-8478
2024年10月05日
[担当:034426]

¥1,094-

消費税 99円を含む。
但し、7E体系代として上記正に領収いたしました。

サツドラ函館大橋店
TEL 0138-62-5088
登録番号: T9430001020202

※財布等にはさんで保管載く場合は、
印刷面を内側に折り保管をお願いします。
領収証明細切り離しは無効

<領収証明細>

2024年10月05日(土) 18:30 No. 8478
担当:034426 [00210-0004]

クラウンPPC A4 ¥1,094内
(@547 × 2個)

小計 2点 ¥1,094
(10%内税対象額 ¥1,094)
(内税額 ¥99)

合計 ¥1,094
お預り ¥1,100
お釣り ¥6

◇は軽減税率対象商品です。



令和6年度

政務活動費支出伝票（旅費）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 5

旅行承認年月日		支払年月日		区 分
令和6年 10月 30日		令和6年 10月 31日		調査研究費 ・研修費
	氏 名	金 額	受領年月日	
1	荒木 明美	42,960円	6年10月31日	
2			年 月 日	
3			年 月 日	
4			年 月 日	
5			年 月 日	
支払金額合計		42,960円		
旅行の目的 海と灯台サミット2024視察のため。				
用務地 東京都港区				
旅 行 の 行 程		旅費の内訳（1人当たり）		
11/3	函館→東京都港区	路線バス, 私鉄	1,660円	
11/4	東京都品川区→函館	J R		
/		航空賃	35,300円	
/		日 当	6,000円	
/		宿泊費	左下欄のとおり	
/		参加費		
/		その他		
備考	親族宅に宿泊したため宿泊費支出無し	合 計	42,960円	

領収書等は、別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

路線バス・私鉄 内訳

11月3日 函館駅→函館空港(バス)310円
" 羽田空港→浜松町(モノレール) 520円
11月4日 浜松町→羽田空港(モノレール)520円
" 函館空港→函館駅(バス)310円

合計 1660円

各種代金お支払い 払込受領証 (お客様控え)

Customer Copy

受付日
05596-9

2024年10月31日
函館千歳町

時間 13時01分

お支払い金額

15,400円

株式会社AIRDO

お客様氏名

主体的市民の会 荒木明美

下記予約を承っております。

全1名 全1旅程分の金額です。

出発日 便名

区間

出発時刻

11/03 AD058

函館

-羽田

0910

お支払い後の返金は当店ではお受けできません。お支払い内容、領収書に関しては下記へお問合せください。

お問い合わせ先: AIRDO 予約・案内センター

電話: 011-707-1122 受付時間: 08:00-20:00

03-6741-1122 (東京)

収納代行会社
ウエルネット株式会社

申込No.: 0559673054686790

この明細書は大切に保管してください。

各種代金お支払い 払込受領証 (お客様控え)

Customer Copy

受付日
05596-9

2024年10月31日
函館千歳町

時間 13時02分

お支払い金額

19,900円

株式会社AIRDO

お客様氏名

主体的市民の会 荒木明美

下記予約を承っております。

全1名 全1旅程分の金額です。

出発日 便名

区間

出発時刻

11/04 AD059

羽田

-函館

1440

お支払い後の返金は当店ではお受けできません。お支払い内容、領収書に関しては下記へお問合せください。

お問い合わせ先: AIRDO 予約・案内センター

電話: 011-707-1122 受付時間: 08:00-20:00

03-6741-1122 (東京)

収納代行会社
ウエルネット株式会社

申込No.: 0559673054694696

この明細書は大切に保管してください。

表示：2025年1月28日

No.113547044

搭乗証明書

CERTIFICATE FOR BOARDING

下記の通り、ご搭乗されたことを証明いたします。

記

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. お客様氏名
Passenger's Name | アラキ アケミ 様 |
| 2. 搭乗日
Date | 2024年11月3日 |
| 3. 航空会社
Carrier | 株式会社AIRDO |
| 4. 便名
Flight No. | ADO058 |
| 5. 座席番号
Seat No | 22E |
| 6. 区間
Sector | 函館→東京(羽田) |
| 7. 出発時刻
Departure Time | 9:10 |

This is to certify that passenger has been on board our flight as indicated above.

AIR DO

表示：2025年1月28日

No.113554722

搭乗証明書

CERTIFICATE FOR BOARDING

下記の通り、ご搭乗されたことを証明いたします。

記

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. お客様氏名
Passenger's Name | アラキ アケミ 様 |
| 2. 搭乗日
Date | 2024年11月4日 |
| 3. 航空会社
Carrier | 株式会社AIRDO |
| 4. 便名
Flight No. | ADO059 |
| 5. 座席番号
Seat No | 14D |
| 6. 区間
Sector | 東京(羽田)→函館 |
| 7. 出発時刻
Departure Time | 14:40 |

This is to certify that passenger has been on board our flight as indicated above.

AIR DO

出張報告書

令和6年 11月 10日

主体的市民の会 荒木明美 様

出張者氏名 荒木 明美

下記のとおり出張したので報告します。

記

1 出張期間	令和6年 11月 3日 ~ 令和6年 11月 4日 (2日間)
2 用務地	① 11月 3日 東京都港区 市・町
	② 月 日 市・町
	③ 月 日 市・町
	④ 月 日 市・町
3 出張概要	海と灯台サミット2024視察 日時：令和6年11月3日(日) 12:00~14:30 シンポジウム 15:45~16:45 トークショー 17:00~18:00 情報交換会 場所：スパイラルホール(東京都港区南青山5-6-23)
4 所見	別紙。
備考	

海と灯台サミット2024視察

主体的市民の会 荒木明美

日時：令和6年11月3日(日) 12:00~18:00

会場：スパイラルホール（東京都港区南青山）

登壇者：

第1部：シンポジウム

事例発表「灯台で地域活性化」（全国各地で灯台を活用した地域活性化の取り組みの紹介）

1. 灯台×星 野島崎灯台利活用プロジェクト委員会（千葉県）糟谷直弘、2. 灯台×学ぶ観光 積丹町地域活性化協議会（北海道）小山彩由里、3. 灯台×ジオ×郷土料理入道崎灯台利活用事業委員会（秋田県）田中勝、4. 灯台×まちつなぎ 灯台からのメッセージ運営委員会（長崎県）中尾和美・久保清悟、5. 高校生「燈人」育成 佐田岬灯台利活用推進コンソーシアム（愛媛県）宇都宮圭、愛媛県立三崎高校「未咲輝ゼミ・Café to 燈人」の皆さん

クロストーク「灯台で〇〇やってみた」（多分野の専門家や著名人が取り組みを紹介）

・灯台守やってみた 野間崎灯台「現代版 灯台守」（愛知県）仙敷裕也・佐々木美佳 ・灯台でキャンプやってみた「バイきんぐ」西村瑞樹 ・灯台でラジオやってみた 詩人・ラジオDJ・漫画家、映画製作 杉作J太郎 ・灯台そのものになってみた 石狩灯台お兄さん（石狩市職員高木順平）

研究発表「海と灯台学」（灯台の文化的・歴史的価値についての研究成果の発表）

研究発表）北海商科大学教授 池ノ上真一、東京文化財研究所無形文化遺産部部長 石村智、
㈱ジオ・ラボ代表取締役 栗原憲一

第2部：トークショー

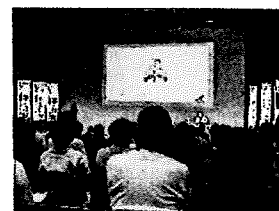
直木賞作家4名（門井慶喜、川越宗一、澤田瞳子、永井紗耶子）

目的：昨年の7月27日に行われたイベント「灯台ホリデイ in 恵山岬灯台公園」に行ったとき、日頃は開放されていない恵山岬灯台を初めて見学した。灯台自体、船にとっての海上の道しるべくらいの認識であったが、津軽海峡・太平洋が一望できる中で聞いた灯台知識はとても奥深いものであった。そこで、本市においても灯台をめぐる一連の歴史は観光資源になりえると思い、全国の取り組みを知るため本サミットに参加することとした。



初見：

灯台が地域おこしの“静かな主役”として可能性を秘めていることを実感するサミットだった。かつては航路を照らす役割を果たしてきた灯台が、現代ではその機能を超えて「地域資源」としての価値が再発



見されつつある。灯台を核として、観光、教育、文化、交流の取り組みが全国から多数紹介され、それぞれが地域の個性や課題に即したユニークな工夫を凝らしている点が印象的であった。

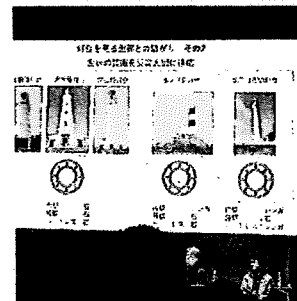
積丹町の「神威岬灯台カレッジプロジェクト」は、灯台を地域学習の資源として、ナイトツアーや体験学習を通じて



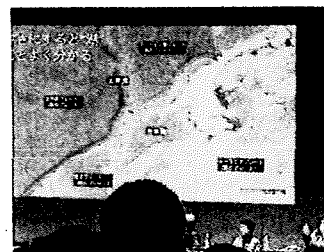
地元の自然や歴史に触れる機会を提供している。秋田の入道埼灯台では、ジオパークや郷土料理と組み合わせたツーリズムを展開し、地域の魅力を立体的に伝えている。灯台を単なる観光名所だけでなく、学びや体験を通して人と地域をつなぐハブとして機能させていた。愛媛県三崎高校による「燈人」育成の取り組みでは、高校生が灯台をテーマにしたカフェ運営などを通じて地域との関係性を築いており、若者の地域定着や次世代の担い手育成にもつながっている点が注目できる。

また、「灯台でキャンプ」「灯台でラジオ」といった自由な発想に基づく活用例は、灯台をより親しみやすい存在へと変え、地域外の人を呼び込む魅力となると感じた。灯台が持つ歴史的・文化的価値に加え、体験・交流・表現の場としての機能が重なることで、多世代・多層の人が関わるプラットフォームとなり得る。

「海と灯台学」の研究発表は、学術的な視点から灯台の意義や可能性について掘り下げられており、知らないことだらけで非常に興味深く話にのめりこんだ。池ノ上真一氏は、灯台を地域の海洋文化や産業の歴史と結びつけながら観光資源としてどう活かすかを論じ、灯台の持つ「物語性」が地域ブランディングにおいて有効だと指摘。石村智氏は、灯台の文化財としての価値に言及、無形文化遺産としての「海と灯台のある暮らし」をどう保全・継承していくかを提示した。古墳がある種の道標、灯台のように使われていたこと、日本の地図を逆にみると日本海は大陸との玄関口だから日本海側に灯台が多いのでは？といったエピソード一つ一つが興味深かった。栗原憲一氏は、地理情報や環境データの活用を通じて灯台を軸とした新たな地域マネジメントの可能性について述べた。



プレートがひしめきあい大地が動く日本の地形だから水や出汁に影響している話も印象に残っている。三者の発表からも灯台が単なる「施設」ではなく、地域の文化、記憶、暮らしの象徴で未来につなげていくべき資源と再認識した。



函館においても恵山岬灯台という資源活用を考える上で、海や灯台といった自然資源やインフラの様々な再評価を知ることができたのは有益であった。おそらくは、行政だけでなく地域住民や若者、外部クリエイターや研究者など多様な人々が灯台を起点に連携し考えていくことで魅力ある地域づくりが進むのだろうと感じた。

TOPICS

海と灯台サミット2024

海と灯台展

2024.11.3-11.4

SPiRAL Hall

EXHIBITION EVENT

アート&イベント



海と灯台サミット2024

2024.11.3 SUN

海と灯台展

SEA and LIGHTHOUSE Exhibition

2024.11.3 SUN. 4 MON

江戸時代末期から明治へ。近代日本の幕開けとともに誕生した灯台は、それまで「ダーク・シー」と呼ばれていた日本の海を一変させました。それから150年以上が経過し、灯台の役割は変わろうとしています。異分野・異業種の視点も交えながら、「未来」にどのような価値を創造できるかを語り合うイベント、それが「海と灯台サミット2024」です。

11月3日は「海と灯台サミット2024」を複合文化施設「スパイラル」（東京都港区）にて開催します。

第1部シンポジウムは、新たな灯台活用方法の実践者や有識者、著名人が多数登壇。

第2部トークショーは、直木賞作家4名が「灯台を読む」をテーマに語り合います。同時開催される「海と灯台展」では、灯台の海洋文化遺産的価値を研究する「海と灯台学」研究者や書籍「灯台を読む」執筆作家の視点から見る灯台の紹介、灯台擬人化プロジェクト「燈の守り人」コーナーなどを通して、灯台の多角的な魅力を伝えます。

■開催概要

【海と灯台サミット2024】

有識者を招いて、新たな灯台利活用方法などを語り合うシンポジウムを開催します。

会期：2024年11月3日(日)

会場：スパイラルホール（スパイラル3F）

▼プログラム

シンポジウム(事前申込制)：2024年11月3日(日) 12:00-14:30

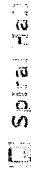
トークショー(事前申込制)：2024年11月3日(日) 15:45-16:45

TOPICS

海と灯台サミット2024

海と灯台展

2024.11.3-11.4



EXHIBITION EVENT

アート＆イベント

【海と灯台展】

「灯台」の魅力をさまざまな視点から紹介する企画展。(入場無料)

会期：2024年11月3日(日)-11月4日(月) 11:00-19:00

会場：スパイラルエスプラナード（スパイラルM2F）

サイトURL：<https://toudai.uminohi.jp/toudai-week2024/week-summit.html>

会場アクセス：〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23 [スパイラルビル](#)

会期：一般社団法人 海洋文化創造フォーラム

共催：日本財団、海上保安庁

問い合わせ先：一般社団法人 海洋文化創造フォーラム 海と灯台プロジェクト事務局

E-MAIL：toudai@umi-nippon.com

参考様式第1号

令和6年度

政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 6

支出年月日	区 分		
令和6年 11月 12日	調査研究費・ 研修費 ・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先	支 払 金 額		
函館しあわせ創造パートナーズ（函館市亀田交流プラザ）	800円		
摘要（品名）	数量	単価	金額
映画『こどもかいぎ』上映会事前打ち合わせ 会場費（小会議室2）	1	800	800円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

【領収書等貼付欄】

No 803020241106120243

施設領収書

使用施設名 函館市亀田交流プラザ
領収日 令和06年11月12日

主体的市民の会様

領収金額 **¥ 800**

支払方法 現金

但

上記正に領収いたしました。許可番号: 6 - 5831

<適格請求書発行事業者>

函館市

市長 大泉 潤

函館市東雲町4番13号

登録番号:T6800020004010

<公金収納受託者>


函館市亀田交流プラザ指定管理者

函館しあわせ創造パートナーズ代表者

受付番号 [20248030]004274

No	摘要	利用日	利用時間	室場/備品	営利割増	金額(税込)
1	利用料	R06/11/12(火)	18:00-22:00	小会議室2		¥ 800
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
合計						¥ 800

10%対象	¥ 800	消費税	¥ 72
-------	-------	-----	------

備考	担当者印 
----	---

令和6年度

政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 7

支出年月日	区 分		
令和6年 11月 13日	調査研究費・研修費・ 広報広聴費 会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先	支払金額		
函館市シルバー人材センター（サン・リフレ函館）	1,440円		
摘要（品名）	数量	単価	金額
活動報告会会場費（中会議室）	1	1,440	1,440円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

領 収 書

No. 1915

住所	No. 1915		
氏名 (団体名)	様		
年度	許可番号	科 目	額
令和6年度	1960	勤労者総合福祉センター利用料	円
区 分	金		円
基本利用料金			円
超過利用料金			円
附属設備等利用料金			円
利用料金合計			円
(内消費税)			円
税率10%対象額	1,310		
消費税額	130		
備考	取扱者印	●	
上記の料金を受領いたしました。			
令和6年11月13日			
公益社団法人 函館市シルバー人材センター ㊤			
登録番号：T3440005002283			
受領印のないものは無効です。領収書の再発行は致しません。			

(参考様式 別紙 1)

研修会, 意見交換会, 報告会等の会議 (開催・参加) の概要

区 分	内 容	
会議等の名称	荒木あけみと語る会	
会議等の目的	議員活動・市議会一般質問について報告することと、参加された市民の皆様からの市政や活動に対するご質問やご意見をいただくことを目的とする。	
日 時	令和7年1月26日(日) 10:30~11:30	
場 所	サン・リフレ函館	
出 席 者	出席議員氏名	荒木明美
	講師等の氏名	なし
	その他参加者	30人
支 出 内 訳		金 額
会場費	1,440円×1式=1,440円	1,440円
合 計		1,440円

活動報告会の会議概要

荒木あけみ イベント情報

荒木あけみと語る会

日時: 2025年1月26日(日)10時半~11時半

会場: サン・リフレ函館(大森町 2-14)

申込不要、参加無料、入退室自由

荒木あけみからの議員活動報告、皆様からご質問・ご意見をいただく会です



実際の様子

